

アウトドアレジャー人気を押し上げる「グランピング」
低投資で、開発ハードルが低い滞在型集客事業としても急浮上
キャンプ場事業の本質を理解しながら、グランピングの事業構造と運営を学ぶ

グランピング事業開発・ 運営手法研究講座

グランピングの事業計画：加藤文人氏 (株)リゾートコミュニケーションデザイン
キャンプ場運営の本質と成功要件：与茂雅之氏 (株)ピカ

グランピングとは…

Glamorous (優雅さ)とCamping (キャンプ)を合わせた造語であり、テントなどに宿泊しつつも、ホテルのような高いホスピタリティを保つことで、キャンプ初心者でも気軽に自然体験を味わえる海外発祥のアウトドアレジャー。若者や女性人気の高まりに加え、その事業メリットを見出したリゾートホテル、商業施設等がグランピングに参入し集客の効果を発揮している。

ご 案 内

野外宿泊、バーベキュー、自然体験アクティビティなどのアウトドアレジャーが人気を集めています。これらのサービスを提供するキャンプ場やリゾート施設が、ホテル並みのサービスを保ちながらもキャンプ体験を味わえる、宿泊施設「グランピング」の導入を進め、既存キャンプ愛好家のみならず潜在していたキャンプ未経験者の掘り起こしを実現しています。

グランピング施設は3年程度での投資回収を見込め、キャンプ場のみならず大規模商業施設や都市部の遊休スペースにおいても開発が可能な、収益性と汎用性の高さを兼ね備えた新業態といえます。しかし、事業収益を得るためには、立地や導入設備、利用者を想定した明確なコンセプト設定など独自のノウハウが求められます。加えて、最も大切なのは利用者を楽しませる食・遊・自然体験の企画と運営です。ブームに乗った安易な開発にせず、事業の本質を理解して、キャンプ場としての運営手法を学ぶことが持続的な経営のためには不可欠です。

本セミナーでは、日本でのグランピング事業の第一人者である加藤文人氏(株)リゾートコミュニケーションデザイン)に開発手法と事業構造についての重要ポイントをご講演いただきます。また、実際にキャンプ場の運営事業を長年行なう与茂雅之氏(株)ピカ)にご登壇いただき、キャンプ場事業の要諦を整理し、事例を通じた成功要件について詳細いただきます。

日 時 2017年3月28日(火) 13:00~17:00

会 場 東京ガーデンパレス

東京都文京区湯島1-7-5

TEL 03-3813-6211

※詳しい会場案内図は参加証にてお知らせいたします。

参 加 費 41,040円(1名様につき)

(消費税及び地方消費税3,040円を含む)

●同一申込書にて2名様以上参加の場合

38,880円(1名様につき)

(消費税及び地方消費税2,880円を含む)

※テキスト・コーヒー代を含む

主 催 総合ユニコム株式会社

月刊レジャー産業資料

〒104-0031

東京都中央区京橋2-10-2 め利彦ビル南館6階

TEL. 03-3563-0025(代表)

ダイレクトメールの送付先変更・中止をご希望者は、お手数ですが、封筒ラベルにご要件を記入の上、弊社企画事業部(FAX.03-3564-2560)迄ご連絡ください。

※弊社ホームページからも、本セミナーはお申込みいただけます!

<http://www.sogo-unicom.co.jp>

お申込み先 ▶ FAXフリーダイヤル ☎ 0120-05-2560

※FAXフリーダイヤル不通時はFAX.03-3564-2560迄おかけ直ください。

お問合せ先 ▶ 総合ユニコム(株) 企画事業部 TEL.03-3563-0099(直通)

参加申込書

グランピング事業開発・運営手法研究講座

●会社名(フリガナ)	●貴社業種
●所在地(〒)	●振込予定日(月 日)
	●当日現金支払い希望… <input type="checkbox"/>
	●ご担当者名()

TEL () FAX ()

●出席者名①(フリガナ) ●所属部署・役職名

●E-MAIL

●出席者名②(フリガナ) ●所属部署・役職名

●E-MAIL

0-0320170323-050

●お申込み方法

- ・左記「参加申込書」にご記入後、上記FAXにてお申込みください。参加者宛に「参加証 / 請求書 / 銀行振込用紙」をご郵送いたします。「参加証」は当日ご持参いただき、会場受付に「お名刺1枚」と共にお渡し願います。
- ・開催直前や当日のお申込みもお受けいたします。その場合は、FAXにて「参加証」をご送付いたしますので、必ずFAX番号の明記をお願いいたします。なお、お支払方法につきましては、別途ご連絡をさせていただきます。

●参加費のお支払について

- ・参加費は「請求書」到着後、原則として開催3営業日前迄にお振込み願います。
- ・お振込みが開催後日になる場合は、左記「振込予定日」欄にご記入ください。
- ・お振込手数料は貴社にてご負担願います。
- ・当日現金でのお支払いも可能です。「当日現金支払い希望」欄に印をご記入願います。

●お申込者が参加できない場合について

- ・代理者にご出席いただけます。既送の「参加証」と「代理者のお名刺1枚」をご持参のうえ、当日会場受付までご来場ください。

●キャンセルについて

- ・開催3営業日前(土日祝日、年末年始を除く)迄に、弊社宛に「会社名 / 氏名 / 電話番号 / 返金先銀行口座(振込済みの場合)」を明記の上、FAX.03-3564-2560にて必ずご連絡ください。
- ・返金手数料として2,000円(1件毎)を申し受けます。なお、開催2営業日前以降のキャンセルにつきましては、全額をキャンセル料として申し受けます。その際には当日配布資料を参加者宛にご送付いたします。

●その他ご連絡事項

- ・お座席は受付順を基本に当方にて指定させていただきます。
- ・会場内は禁煙です。講演中の録音・録画、PC・携帯電話等の使用はお断りいたします。
- ・ご記入いただいた個人情報は、弊社商品案内ならびにセミナーの適切な運営、参加者間の交流促進のために利用させていただきます。
- ・主催者や講師等の諸般の事情により、講師変更や開催を中止する場合がございます。その際には弊社より参加者にご連絡させていただきます。なお、その際の交通費の払い戻しやキャンセル料の負担はいたしかねますので、予めご了承ください。

グランピング事業開発・運営手法研究講座

セミナープログラム

※15時15分から15分間のコーヒープレイクを挟みます。

13:00~15:15 (総論・事業計画)

I. グランピング事業とは

— 開発・事業計画の立て方、事業化のための重要事項

- グランピングとは
 - ・グランピングの発祥から普及まで／グランピングを取り巻く状況
- 国内外事業者の先進事例
- 集客に向けた新たな考え方「オルタナティブリゾート」とは？
- 事業の収益性と汎用性
 - ・初期投資費用と投資回収年数、客単価／共用部におけるコスト／高稼働に向けた事業計画
- 設備投資・改修でのリスク軽減
- グランピング開発に関する法務(消防法、旅館業法、食品衛生法等)
- スタッフ育成
- 立地選定のポイント～地域と自然
- 事業計画の実際
- 立地別事業化のポイント
 - ・既存レジャー施設導入／商業施設導入／都市部遊休地・遊休スペース
 - ・グランピング単独の施設開発
- グランピング施設に求められるコンセプト
 - ・体験価値／地域のポテンシャルを見極める／利用客が求めるもの
- 今後の業界展望、市場の発展可能性

15:30~17:00 (事例研究)

II. キャンプ場運営国内最大手「PICA」の 運営施設より学ぶ事業の本質と成功要件

— アウトドアの「体験価値」を高める事業戦略とは

- PICAが目指すもの～「人と人、人と自然のインターフェイスになる」
 - ・自然とのふれあい、体験価値
 - ・昨今のグランピングブームをどう捉えているか
- 事例から学ぶオペレーションの実際、および施設間の比較
(コンセプト、用地取得、客層、稼働率、事業収支etc)
 - ・初島アイランドリゾート
 - ・PICA秩父
 - ・キャンプ明野ふれあいの里
 - ・パディントン ベア・キャンプグラウンド
 - ・PICA山中湖ヴィレッジ
- 事業収支計画策定シミュレーション
- 体験価値を重視したサービス提供の必要性
 - ・リピーター増加、客単価上昇に資するサービス
 - ・自然体験とホスピタリティのバランスをいかにとるか？
- 宿泊施設を中心とした地域全体の有機的な開発
 - ・交通インフラから温泉施設まで包括するPICA富士吉田の戦略
- 今後の事業展望

講師プロフィール

第I講座



加藤 文人 (かとう・ふみひと)

株式会社リゾートコミュニケーションデザイン
代表

1995年三井系企業の社内ベンチャーとしてアウトドアリゾート「PICA(ピカ)」を立ち上げる。「PICA山中湖ヴィレッジ」や「初島アイランドリゾート」のほかマレーシア、台湾など海外でも次世代のリゾートをプロデュース。オルタナティブリゾートプロデューサー、(一社)日本グランピング協会顧問。主な著書に『グランピング施設開発・運営実務資料集』共著・総合ユニコムがある。

第II講座



与茂 雅之 (よも・まさゆき)

株式会社ピカ
アウトドアリゾート事業部
エグゼクティブディレクター

1970年神戸市生まれ。2004年まで約11年三重県志摩市、伊勢志摩エバーグレイズ支配人を務め、2005年株式会社ピカ(富士急行株式会社100%子会社)に移り、親会社の遊休地の再開発として、オートキャンプ場・複合リゾートの開業立上げから運営マネージャーとして関わる。現在は同社のアウトドアリゾート事業部の統括施設委任者として施設運営だけでなく、企画・販促・人材開発などの事業全体を統括する立場になる。16年には、新規事業として「アウトドア型企業研修事業」を立ち上げ、初年度で1,000万円の売上げを確保。自然との接点を様々なチャンネル・切り口で事業化を推進中。

株式会社ピカ

1995年よりアウトドアリゾート「PICAリゾート」を山梨・静岡・神奈川・埼玉に9か所に展開。事業開始から20数年、グランピングが流行する前から、「人と人、人と自然のインターフェイスになる」ことをミッションに、より気軽に、より身近に自然を感じられるアウトドアリゾートを目指して運営し続けている。

現在は、サービスエリア・道の駅・交通ターミナルでの土産物販売を中心とした飲食物販事業も合わせて約25事業所を抱え、年商50億円、従業員数120名の規模で展開中。